

## 生活安全部門 生活基盤分野の活動

代表者：大川 秀雄

構成員：加藤 大介, 土井 希祐, 渡辺 登, 寺尾 仁

### 分野の目的

土木・建築構造物の破壊や損傷の状況と原因を整理・分類し、中山間地および積雪寒冷地における特徴や固有の問題を明らかにするとともに、復旧や再構築の方法を研究する。

また地域復興を、①施設・建物等の物理的復興 ②企業・地縁団体・行政や地域経済等の社会的復興 ③復興を進めてゆくための仕組み・主体の構築と捉え、そのために地域で活動する専門家が活動し易くする研究拠点について形成することをめざす。

### 本年度の活動総括

新潟大学内の他部局の教員と共同して研究会を組織し、学内教員の震災復興に関する活動報告や学外の専門家の報告をうかがい、被災地で住民参加型の調査活動の可能性について検討してきた。その結果、阪神淡路大震災の場合のように建築・都市計画・土木技術者が復興過程に関与する機会が極めて少ないことがわかった。今年度の活動で得られた知見をもとに、今後、住宅や集落を具体的に再生させてゆく過程で、新潟大学の技術を地元の専門家に移転するとともに、地元の専門家の経験を研究に取り入れ、中山間地域の災害復興都市・農村計画の新たな技術開発を図りたい。

### 活動計画

今年度は研究会を通して論点の整理を行いながら、現地協力地区について選定検討を行い、当該地区の被災状況に関する把握、復興プログラム策定の支援、実施体制構築への支援を、住民、地元市町村、ボランティア組織、専門家集団とともに行う。

### 活動内容

活動の中核とするプロジェクト

テーマ：被災地域での生活基盤再構築の方法に関する研究および地域復興における連携構築とその方法に関する研究

#### 具体的活動内容

- ・生活基盤の破壊原因と再構築方法に関する研究
- ・地域復興における専門家と大学教員の連携構築に関する研究

### 活動実績・成果

生活基盤分野の構成員を中心に、農学部、経済学部など学内関係教職員にも呼びかけて設けられた復興研究チーム研究会により、渡辺 登（長岡市復興管理監・6月7日）、田村 圭子（災害復興科学センター危機管理分野特任助教授・7月6日）、アンソニー・ボンド Anthony Bond（ニュー・サウス・ウェールズ美術館館長・7月21日）、福留 邦洋（災害復興科学センター生活安全ネットワーク分野特任助教授・9月26日）、澤田 雅浩（長岡造形大学専任講師・2月28日）の各氏から話題提供いただくとともに、議論を行った。内容は、集落再生（旧山古志村）の計画と実態、水害時の要援護者に関する留意点、芸術活動が被災地へ及ぼす影響、災害規模や地域特性による被災者の居住環境、新潟県中越地震における復興の現状などである。これらの知見を深める中で、建築・都市計画者、土木技術者等専門家が地域と連携しながら復興に関わるべき課題の多いことがわかった。

### 業績等

#### ●産官学連携（外部委員会への協力）

- ・新潟県耐震性能評価委員会、委員長、新潟県建築設計協同組合、加藤大介。
- ・新潟県建築確認業務改善検討委員会、委員、新潟県、加藤大介。
- ・建築物等防災技術評価委員会、委員、日本建築防災協会、加藤大介。
- ・消防本部庁舎等建設基本設計プロポーザル評価委員会、委員、長岡市、加藤大介。
- ・新潟市公共事業再評価有識者会議、委員長、新潟市、寺尾仁。
- ・長岡市市民活動助成審査会、会長、長岡市、寺尾仁。
- ・上越市景観審議会、委員・部会員、上越市、寺尾仁。
- ・上越市大規模開発行為審議会、委員、上越市、寺尾仁。
- ・新潟県入会林野等整備コンサルタント、新潟県、寺尾仁。
- ・新潟県都市計画道路見直し検討委員会、委員、新潟県、寺尾仁。
- ・新潟県都市計画手続きにおける広域調整制度に関するアドバイザー、新潟県、寺尾仁。
- ・新潟県NPO施策検討委員会、会長、新潟県、寺尾仁。

### ●一般講演（学会講演を除く依頼講演）

- ・フランスの建築基準について，日本建築センター，2006年7月3日，寺尾仁。
- ・地域コミュニティ協議会の役割，小須戸地区コミュニティ協議会設立準備会まちづくり部会，新潟市小須戸地区公民館，2006年6月28日・7月22日，寺尾仁。
- ・入会とコモন্ズの接点－新たな政策展開のために，林野庁，2007年3月20日，寺尾仁。

### ●著書・論文

加藤大介，李柱振，中村友紀子，本多良政：配筋詳細に着目したRC造せん断破壊柱の軸力保持性能に関する実験（軸加力実験と曲げせん断加力実験の関係），日本建築学会構造系論文集，第610号，pp.153-159，2006。

### ●その他の報告

- ・Yoshimasa Honda, Daisuke Kato and Yukiko Nakamura: Effect of Seismic Retrofitting on Reinforced Concrete Buildings Suffered During The 2004 Mid Niigata Prefecture Earthquake, the 8th National Conference on Earthquake Engineering, 2006
- ・Daisuek Kato, Li Zhuzhen, Takuya Yatsutsuka and Yukiko Nakamura, Axial load capacity of R/C columns with various reinforcing details and concrete strength, First European Conference on Earthquake Engineering and Seismology (a joint event of the 13th ECEE & 30th General Assembly of the ESC), Geneva, Switzerland, 3-8 September 2006, Paper Number:347,2006
- ・寺尾仁：「おいしさ」がしみわたる社会－中越大震災復興支援カレー，地域開発，501号，pp.67-69，2006。
- ・寺尾仁：葡萄が引き寄せる人たち－カーブドッチの15年，地域開発，504号，pp.67-69，2006。
- ・寺尾仁：レトロ洋装で光る雁木－高田のあわゆき道中－，地域開発，508号，pp.57-59，2007。
- ・寺尾仁：踊る街－新潟市民芸術文化会館専属ダンス・カンパニーNoism－，地域開発，511号，pp.59-61，2007。

### ●口頭発表

- ・李柱振，加藤大介：RC柱の残存軸力性能に及ぼす載荷方法とコンクリート強度の影響，日本建築学会北陸支部研究報告集，pp.49-52，2006。
- ・李柱振，八塚卓哉，加藤大介：RC柱の軸力保持性能に及ぼすコンクリート強度の影響，日本建築学会北陸支部研究報告集，pp.53-56，2006。
- ・李柱振，加藤大介：RC柱の残存軸力性能に及ぼす載荷方法とコンクリート強度の影響，日本建築学会大会学術講演梗概集C-2構造IV，2006。
- ・菊池大，本多良政，加藤大介：新潟県中越地震で被災したRC造建物の耐震性能残存率の評価（その1：解析概要），日本建築学会大会学術講演梗概集C-2構造IV，2006。
- ・本多良政，菊池大，加藤大介：新潟県中越地震で被災したRC造建物の耐震性能残存率の評価（その2：耐震性能残存率の評価），日本建築学会大会学術講演梗概集C-2構造IV，2006。

### ●教育活動

#### ◎卒業論文

千葉恭子，建築基準法の単体規定の遵守の保証，工学部，寺尾仁。

久保田真理，山村の持続可能性を目指す森林活用－只見木材加工協同組合（たもかく）を事例に－，工学部，寺尾仁。